

REF **MonotaRO** 8 RT

第8期中間報告書

平成19年1月1日～平成19年6月30日

MonotaRO
.**com**

株式会社MonotaRO

証券コード：3064

今期は将来の大きな
飛躍に向けての基盤を
構築する準備期間と
とらえています。

① ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに、第8期中間期（平成19年1月1日～平成19年6月30日）の事業概況をご報告させていただきます。

② 第8期（2007年12月期）中間期業績の概況をご説明下さい。

売上高は順調に伸長しましたが、物流センター移転費用の増加で一時的に減益となりました。

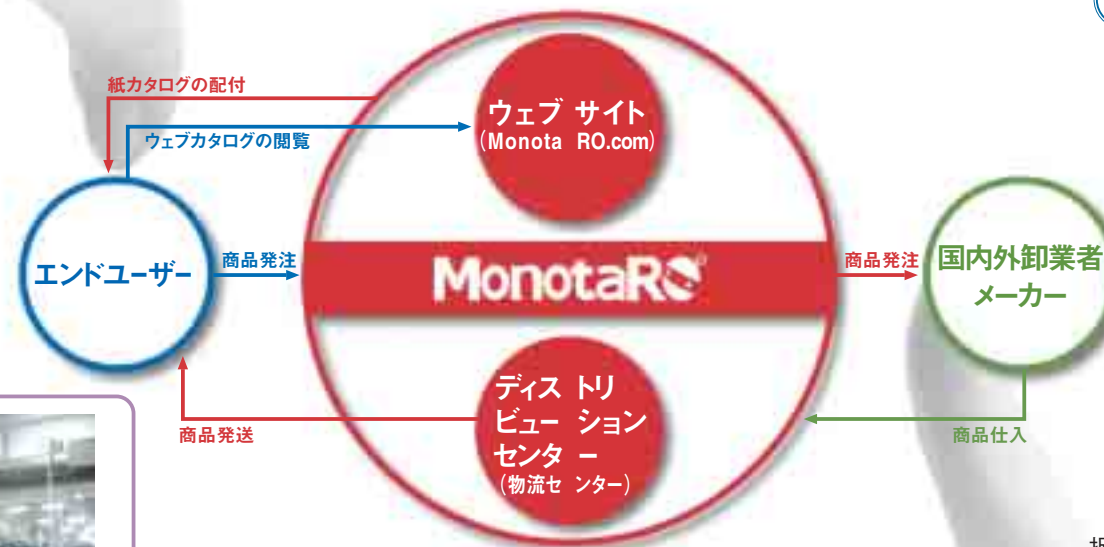
売上高は5,132百万円（前年同期比19.4%増）、経常利益48百万円（同78.8%減）、中間純利益27百万円（同87.8%減）となりました。

売上高につきましては、2007年2月に新規カタログを投入した効果や、割引クーポンの発行など積極的なプロモーション活動を展開したことが奏功し、順調に伸ばすことができました。

一方、利益面につきましては、2006年12月末から2007年1月にかけて、大阪府東大阪市の物流センターを、約3倍の広さの兵庫県尼崎市のプロロジスパーク尼崎（1フロア2万4,400m²）に移転しましたが、システムの移行にあたってトラブル

在庫数と出荷効率が格段にアップ

2007年1月に移転を果たした「プロロジスパーク尼崎」3階の物流センターは、当社の展開する「ネットビジネス」の重要拠点として、順調に稼働しています。最大50,000アイテムにも及ぶ在庫保有能力は、売れ筋の商品も珍しい無名商品も同じように短納期で購入できる当社ネットビジネスの強みを強力に支援。さらに、従来は1日5,000件だった出荷効率も10,000件にまでアップしました。同所に移転した営業企画部・マーケティング部・ITサービス部との物流現場に直結した連携体制も万全で、さらなる効率的経営を目指します。



③ マーケットの現況、競合の動向はいかがでしょう。

旧態依然とした流通構造の改革を目指しています。

工場用間接資材は切削工具や研磨材などの工作用資材から梱包・補修・清掃・安全・事務用品まで多岐にわたり、市場規模は3～5兆円あるとみています。競合は訪問工具商などの卸やホームセンターなどですが、取引量の多い大企業に対しては安価で卸し、中小事業所に対しては高い価格で販売するという不透明な商慣習が残っている市場です。卸には零細企業が多く、多品種の品揃えが不可能なため、トップブランド商品しか取り扱いません。

ユーザーである中小事業所は、多様な商品を望んでいるにもかかわらず、不満を抱きながらも商品の選択性が低い卸から、不透明な価格で購入するしかないのが現状です。当社は、こうした旧態依然とした流通構造の改革を目指しています。

代表執行役社長
瀬戸 欣哉



④ 強み、差別化戦略を教えてください。

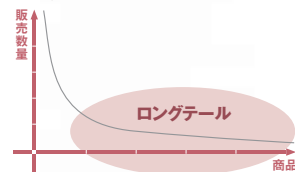
従来にない新たな価値を追求しシェア向上を図ります。

当社のビジネスの特徴は、ロングテールビジネス^(注)を展開していることです。売れ筋ではなく他ではあまり売られていない商品でも、当社のサイトに来れば安く迅速に購入することができ、そのことが顧客層の拡大につながっています。ネットビジネスを展開する企業でも、まだ売れ筋商品を中心とした旧来のビジネスを踏襲している所が多いのが現状ですが、当社はそれとは一線を画したビジネスを展開しています。

インターネットを活用することで、規模の経済を追求できるようになり、特殊な分野の工具も取り揃えることが可能となりました。豊富な品揃え、そして高い検索性など、従来にない新たな価値を提供することで差別化を図り、シェアの拡大を進めてまいります。オリジナル商品の開発や海外商品の輸入、ソフトウェアからコンテンツまで自社で製作することで生産性を上げています。コスト競争力の点からも、優位性は高いと考えています。

もう一つの強みは、データベースを活用したマーケティングにあります。現在、当社の顧客数は20万事業所を超えています。膨大な受注・顧客データベースをもとに、例えば、新商品が発売された際に、どのような顧客層にどのような販売促進を実施すると効果が高いかといったデータを蓄積しています。これらを活用したマーケティングのノウハウは強みだと考えています。

(注)ロングテール:売上が上位にある一定の商品が利益の大部分を稼ぐという旧来の考え方に対して、あまり売れない商品が欠かせない収益源になるとする考え方。縦軸を販売数量、横軸に売れた商品を販売数量の多い順に並べたグラフを書くと、右に低く長く伸びた尻尾 (tail) のような形を描くことから、こう呼ばれる。



⑤ 今後の課題をお聞かせ下さい。

中長期的な成長に向けて、知名度の向上が重要課題です。

おかげさまで顧客のリピート率は80%と高水準です。新規にご登録いただいた事業所が、毎月購入して



いただけるまでに約2年と、時間はかかりますが、一度購入していただくと、長く利用していただけるということがわかっています。中長期的な成長に向けて、新規顧客の拡大が重要課題だと考えています。

工場用間接資材は、購買頻度が低い地味な商品群ですから、なかなか知名度は上がりにくいですが、7~12月に試験的に関西地区でテレビやラジオのCMを展開いたします。2006年12月期の新規顧客増加数は月間平均で4,500事業所でしたが、CMを実施した後、増加数は月間6,000事業所に伸びました。間接資材といえば、MonotaROというデファクトスタンダードとなるために、今後も様々な施策を展開する計画です。

⑥ 第8期通期の業績見通しを教えてください。

利益率の改善により、通期業績は期初計画どおり2桁増収増益を見込んでいます。

通期では、期初計画どおり増収増益を達成できる見通しです。原材料価格の高騰が続いている商品につきましては販売価格に反映することができました。当中間期は物流センター移転に伴うコスト負担が予想を超えて発生しましたが、売上高が順調に伸びていることに加え、売上総利益率の改善効果、さらに経費削減などによって、通期では吸収できる見通しです。

⑦ 株主の皆様へメッセージをお願いします。

日本のものづくりを支える中小企業にとって価値あるサービスを提供していきます。

新物流センターが本格稼動したことにより、今後の成長に向けて大きく前進することができました。日本のものづくりを支える中小企業にとって、当社は確実に高い付加価値を提供する、意味のある事業を展開していると考えています。株主をはじめステークホルダーの皆様には、今後とも長期的な視点で見守っていただき、一層のご支援、ご鞭撻を賜りましたら幸いです。

現場を支えるネットストア モノタロウ MonotaRO

各種製造工場や建築現場など、ものづくり企業をターゲットに、各種工具や補修・梱包・清掃資材といった多岐にわたる間接資材を格安で提供する国内最大のインターネットサイトです。



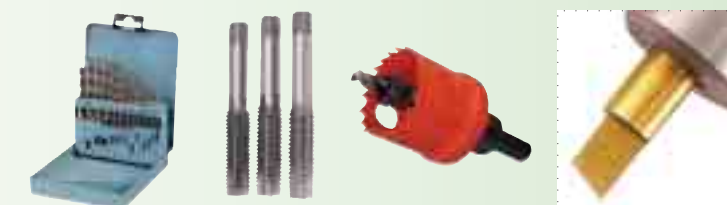
IHC.MonotaRO インターネットホームセンター

BtoB通販で培った商品力、価格訴求力を活かした個人向けのサイトです。「モノが多すぎてホームセンターでは探しきれない」「ホームセンターに行く時間がない」といった声にもお応えします。掲載商品数は約1万点で「ホームセンターでは手に入れることが難しい商品」も取り揃えています。



刃MonotaRO

切削工具を専門に扱い、ドリルの替刃やフライス用チップなどの小物単品を全て配送費無料でお届けする専用サイトです。取り替える頻度が少なかったり、用途が特殊であることなどから、単品や小ロットで購入できる便利なサイトです。



ベアリングタロウ

軸受を専門に扱うインターネット販売サイトで、交換用規格品のほぼ全品番にあたる約2万種類を揃えた国内最大の専門ショップです。軸受は種類が膨大な数に及びますが、「ベアリングタロウ」は十二分な品揃えで、商品探しのわずらわしさを解消、単品購入でも配送無料のシステムを実施しています。



「MonotaRoブランド ショップ」がオープン

2007年1月、業界初となるアフィリエイト専用個人・法人向けショップサイト「MonotaROブランド ショップ」をオープンしました。取扱商品は工具や梱包、清掃用品など家庭や趣味で使用する間接資材全般で、当社が自信を持っておすすめする自社ブランドが中心。また、広告掲載



サイトに対して支払う成果報酬は、業界では売上の2~3%が一般的ですが、破格の10%に設定いたしました。

2007年5月より、MonotaRO.comの商品検索エンジンを全文検索システムを利用した高速エンジンに変更いたしました。これによりメーカー名、商品名からだけでなく、特徴・用途などからの検索が可能に。表示形式も同一商品のサイズ違い・色違いなどグループごとで、商品



確定も簡単になります。今後もお客様からのご意見を伺いながら、さらなる機能の改善に努めてまいります。

新商品検索システムを導入

Amazon.co.jp内にBtoC専門ストアをオープン

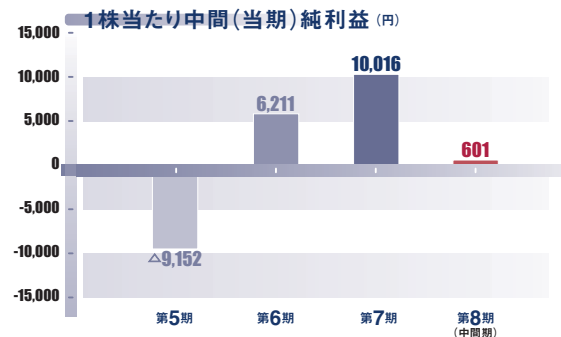
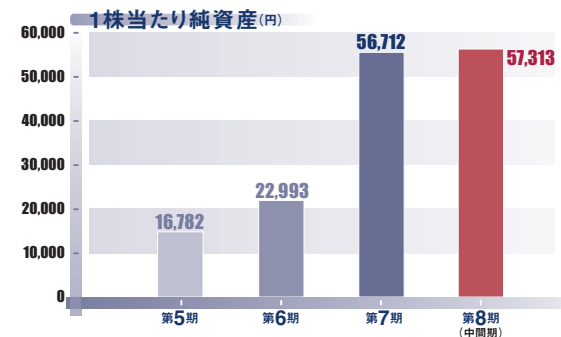
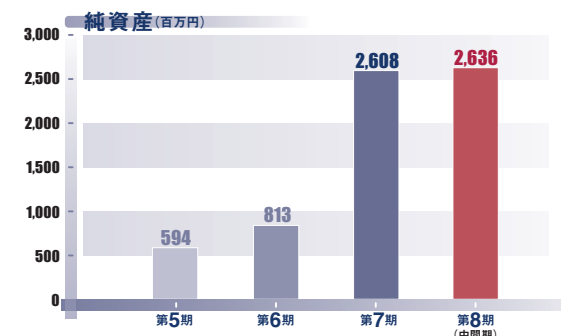
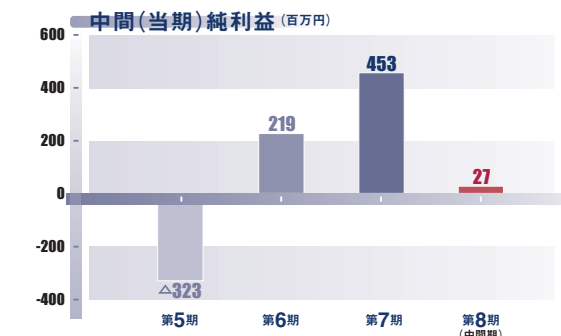
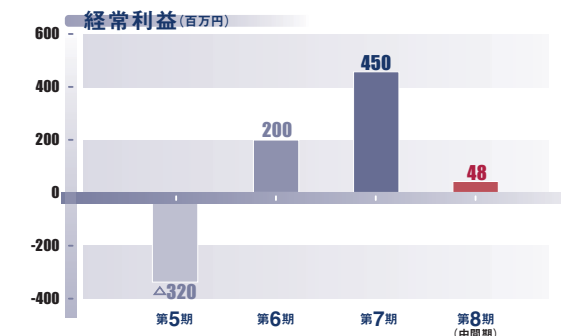
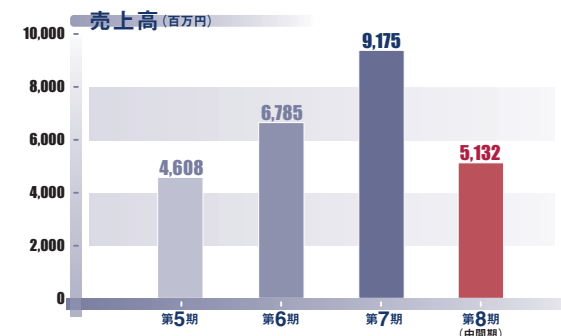
2007年8月、個人消費者を対象とした商品の販売に向け、総合オンラインストアAmazon.co.jp内のネットモール「マーチャント@amazon.co.jp」に専門インターネットホームセンター「IHC.MonotaRO」を出店しました。このサイトで販売される間接資材は業務用卸価格を適用しているため、一般ホームセンターの平均売価の2割~最大8割引きというお得な価格で購入することが可能です。



当社取扱商品80万点の中からお客様からの受注頻度が高く、低価格な商品4,500アイテムを厳選した「価格破壊カタログ」を2007年6月、発刊しました。このカタログは15万部制作され、当社の既存ユーザーである事業所以外にも積極的に配布いたしました。仕入れのコストや仕入れ業務のわずらわしさを大幅に省くことができる、通信販売の合理性をお客様に実感していただくことが発行のねらいです。



「価格破壊カタログ」発刊

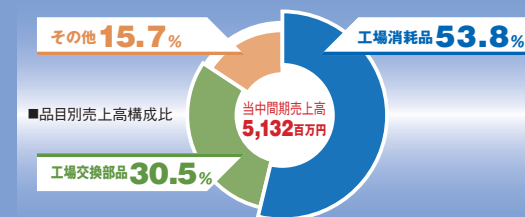


新規顧客の獲得により、引き続き売上が拡大しました。

当中間期におきましては31,025件の新規顧客を獲得することができ、2007年6月30日末現在の登録会員数(注)は、207,116件となりました。

この結果、2007年12月期中間期の売上高は5,132百万円(前年同期比19.4%増)となりました。一方、利益面では、物流センター移転に伴う移転費用など、当初から想定していた費用の増加のほかに、物流センター移転に絡んで発生した初期トラブル修復のため、物流部門を中心に臨時の人員を大量に投入したことなどにより、一時的な販売費及び一般管理費が多額に発生した影響もあり、営業利益は49百万円(前年同期比78.0%減)、経常利益は48百万円(前年同期比78.8%減)となりました。また、同じく物流センターの移転に絡んで発生した商品廃棄損や固定資産除却損の特別損失などにより、中間純利益は27百万円(前年同期比87.8%減)となりました。

(注)1社で複数の事業所が登録されている場合があります。また、個人事業主も含まれております。

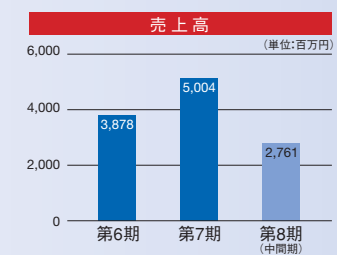


取扱商品

工場消耗品

主として製造現場で使用される工具類など、耐久期間の短いもの及び使用の都度減耗・消耗するもので、右記の商品を中心に取り扱いしております。当中間期の売上高は2,761百万円(前年同期比14.7%増)となりました。

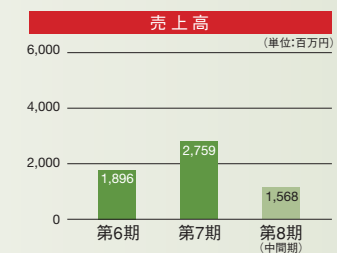
はんだ関連商品、電動・空圧工具、スプレー・オイル・グリス、メガネ、切削工具、ステンレス・アルミ製品、塗装用品、マスク、安全用品、清掃用品・洗剤、安全靴・安全スニーカー、静電気対策・クリーンルーム用品、接着剤・補修材、研磨材、安全標識、測定工具、手袋、作業工具



工場交換部品

主として製造現場で使用される補助機器や製造設備などの補助用品で、右記の商品を中心に取り扱いしております。当中間期の売上高は1,568百万円(前年同期比21.6%増)となりました。

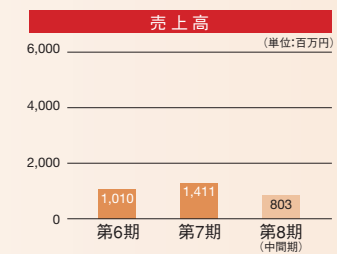
梱包用品、電気材料、機械部品、油圧機器、ねじ・ボルト類、コンプレッサー・カブラ・空圧機器・ホース・チューブ、キャスター、配管・継手・バルブ類、ベアリング・伝動機器、トラック用品、テープ、ポンプ・送風機、制御機器、荷役運搬機器



その他

工場消耗品及び工場交換部品以外のもので、右記の商品を中心に取り扱いしております。当中間期の売上高は803百万円(前年同期比33.5%増)となりました。

電池、照明、トナー・インク、作業服、事務用品



Financial Statements

財務諸表

■中間貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	期別	当中間会計期間末 (平成19年6月30日現在)	前中間会計期間末 (平成18年6月30日現在)	前事業年度末 (平成18年12月31日現在)
資産の部				
流動資産		3,586,823	3,624,643	4,138,359
現金及び預金		826,189	1,298,984	1,548,537
売掛金		1,199,369	1,012,309	1,133,787
たな卸資産		1,170,712	1,006,696	1,015,352
その他の資産		409,526	340,520	463,006
貸倒引当金		△18,972	△33,867	△22,325
固定資産		599,044	273,944	493,505
有形固定資産		223,059	34,618	116,397
無形固定資産		249,482	180,871	217,562
ソフトウェア		222,864	133,099	178,399
その他の資産		26,617	47,772	39,162
投資その他の資産		126,502	58,454	159,545
差入保証金		125,780	55,181	156,802
その他の資産		10,340	11,275	14,850
貸倒引当金		△9,618	△8,003	△12,107
資産合計		4,185,868	3,898,587	4,631,864
負債の部				
流動負債		1,549,382	1,679,070	2,023,045
支払手形及び買掛金		1,240,364	1,348,222	1,619,455
未払金		272,174	282,146	351,899
その他の負債		36,843	48,701	51,691
負債合計		1,549,382	1,679,070	2,023,045
純資産の部				
株主資本		2,636,485	2,219,517	2,608,818
資本金		1,675,324	2,125,650	1,675,324
資本剰余金		479,862	2,005,650	479,862
資本準備金		479,862	2,005,650	479,862
利益剰余金		481,298	△1,911,782	453,631
その他利益剰余金		481,298	△1,911,782	453,631
繰越利益剰余金		481,298	△1,911,782	453,631
純資産合計		2,636,485	2,219,517	2,608,818
負債純資産合計		4,185,868	3,898,587	4,631,864

■中間損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	期別	当中間会計期間 (自平成19年1月1日 至平成19年6月30日)	前中間会計期間 (自平成18年1月1日 至平成18年6月30日)	前事業年度 (自平成18年1月1日 至平成18年12月31日)
売上高		5,132,888	4,299,198	9,175,451
売上原価		3,815,680	3,184,895	6,857,576
売上総利益		1,317,207	1,114,303	2,317,875
販売費及び一般管理費		1,267,226	886,717	1,855,726
営業利益		49,981	227,586	462,149
営業外収益		3,295	6,962	11,774
営業外費用		4,877	6,332	23,360
経常利益		48,400	228,215	450,562
特別利益		2,198	—	—
特別損失		10,080	—	—
税引前中間(当期)純利益		40,517	228,215	450,562
法人税、住民税及び事業税		2,323	1,620	3,240
法人税等調整額		10,527	△484	△6,308
中間(当期)純利益		27,666	227,080	453,631

■中間キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	期別	当中間会計期間 (自平成19年1月1日 至平成19年6月30日)	前中間会計期間 (自平成18年1月1日 至平成18年6月30日)	前事業年度 (自平成18年1月1日 至平成18年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△469,714	△74,552	184,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		△252,633	△67,979	△232,898
財務活動によるキャッシュ・フロー		—	1,073,305	1,228,757
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)		△722,348	930,772	1,180,326
現金及び現金同等物の期首残高		1,548,537	368,211	368,211
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		826,189	1,298,984	1,548,537

■中間株主資本等変動計算書 当中間会計期間(自平成19年1月1日至平成19年6月30日)

(単位:千円)

科目	資本金	株主資本			株主資本合計	純資産合計
		資本剰余金	利益剰余金	資本準備金		
平成18年12月31日残高	1,675,324	479,862	453,631	453,631	2,608,818	2,608,818
中間会計期間中の変動額						
中間純利益			27,666	27,666	27,666	27,666
中間会計期間中の変動額合計			27,666	27,666	27,666	27,666
平成19年6月30日残高	1,675,324	479,862	481,298	481,298	2,636,485	2,636,485

会社概要

社名	株式会社 MonotaRO (英文名 MonotaRO Co.,Ltd.)
本社所在地	大阪市中央区安土町2丁目3番13号
設立	2000年10月
資本金	16億7,532万円
物流センター	兵庫県尼崎市西向島町231-2
従業員数	138名
主要な事業内容	インターネット等を利用した工場用間接資材の販売

役員

取締役兼代表執行役社長	瀬戸 欣哉
取締役	藤尾 裕章
取締役	宮島 正敬
取締役	山形 康郎
取締役	喜多村 晴雄
取締役	William J. Noonan (ウィリアム・ジェイ・ヌーナン)
執行役員	田中 秀和
執行役員	室 大二郎

株式の状況

発行可能株式総数	52,800株
発行済株式の総数	46,001株
株主数	1,945名

大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
グレンジャー・インターナショナル・インク	17,640	38.34
住友商事株式会社	14,229	30.93
ワークス投資事業有限責任組合	2,242	4.87
三菱UFJキャピタル株式会社	1,255	2.72
自社従業員持株会	385	0.83
株式会社ドリームインキュベータ	380	0.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託)	346	0.75
瀬戸 欣哉	300	0.65
イデビシーアドサービス/スバースアットマシナリー/コイルテド	280	0.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託)	258	0.56

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月中
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問合せ先)	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 フリーダイヤル：0120-094-777
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。 フリーダイヤル：0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部)
インターネットURL	http://www.tr.mufj.jp/daikou/

上場証券取引所 東京証券取引所マザーズ

公告方法 電子公告
当社ホームページURL：
http://www.monotaro.com
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

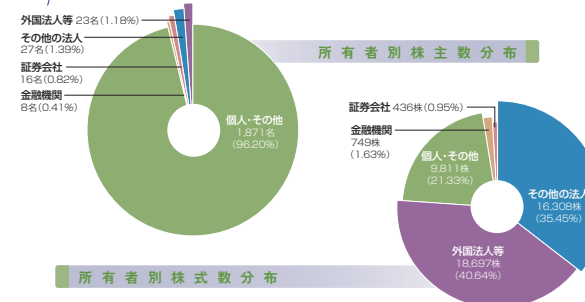
ホームページのご案内

事業者向けサイトのほか、消費者向けサイト、モバイルサイトなどのサイトをオープンしています。「IR情報」のページには投資家の皆様への情報を掲載しております。

<http://www.monotaro.com>



株式分布状況





株式会社MonotaRO